

■ドイツのエコ政策

1. ドイツのエコ自動車購入支援制度

参考にしたのは欧州の支援制度だ。ドイツは今年1月、9年以上使用した自動車を省エネ自動車に買い替える際に約30万円の補助金を出す制度を導入、新車販売台数が急増している。今回の買い替え支援策も減免制度と合わせれば、ドイツ並みの額となる。

最大25万円が支給される対象は「13年以上」で線引きされた。経済財政諮問会議に提出された資料によると、対象となる乗用車は07年度末で約550万台に上る。さらに、一部のメーカーしか製造していないハイブリッド車などの次世代自動車に限らず、燃費基準を条件として対象車を広げたのは、業界の論理が通った結果といえる。

2. ドイツの自家太陽光発電支援制度

① 太陽光発電は一般電力料金より大幅に高い（一般家庭用電力が20セント/kWh程度なのに対し、買い取り価格は最も高いクラスで08年9月現在43セント/kWh）価格で20年間にわたって電力会社が買い取ることが保証されている。

② この価格であれば、イニシャルコストの補助がない現在のシステム価格でも太陽光発電が“儲かるビジネス”となり、期待できる利回りが高い（8～10%/年程度）。

③ 電力買い取りのための原資は広く一般向けの電力料金をわずかに高くすることで賄う＝国庫の直接的負担はない。

④ 設置者は自分が設置した太陽電池で発電した電気を全量、電力会社に売電。自分で使う分は電力会社から通常の商用電力を購入する。

あたいをなめるんじゃないよ！あたいの前職は、物理学者だよ。あんたより、数字がよめるんよ。あたいたちは、少ない予算で、最大の効果をあげんのよ。



ムムム。

